

但馬のクモ類目録，追加報告（1）

山本一幸

但馬地方に産するクモ類のまとめとして，筆者らは本誌13・14号で37科319種を記録した（本庄・山本，1990）．その後，エゾウズグモ・マルサラグモ・ナミコモリグモの3種類が新たに記録され（山本，1990），さらに調査を進めるに至って9種類の追加が認められた．

今回は，但馬産クモ類の追加報告として，新たに確認された12種類のリストを報告する．

クモ類リスト

リスト記述に際して，科・種名は和名と学名（種名には命名者）の両方で表した．データは1)採集年月日，2)産地，3)個体数及び性別の順とし，採集者は特に記述のないものはすべて筆者である．また，必要に応じて簡単な解説を付記した．

1. ガケジグモ科 Amaurobiidae

1. クロガケジグモ *Ixeuticus robustus* (L. KOCH)

1)1990-IX-9. 2)日高町日置. 3)1♀. 採集者：本庄四郎.

1)1990-XII-2. 2)日高町日置. 3)1♂, 1♀. (写真)

1963年に大阪府で最初に発見され，オーストラリアからの移入種と考えられた．その後，奈良県や和歌山県からも発見が相次ぎ，大阪府と近接する兵庫県にも分布が広がる可能性が十分にあった．1989年10月，本庄四郎氏によって夢前町宮置から見つかかり，兵庫県にも分布することが明らかになった．さらに1990年7月には，西川喜朗氏によって加西市からも確認されている（私信）．

今までの記録は太平洋側に限られ，日本海側からは未確認であった．しかし，1990年9月，本庄四郎氏によって日高町で発見され，日本海側の但馬地方にも分布することが明らかとなった．

人為的な分布が考えられるが，その経路は今後の研究課題である．また，採集した個体は本庄氏及び筆者のもとで飼育中であり，生態観察を継続中である．



クロガケジグモ *Ixauticus robustus* (L.KOCH) ♀

撮影データ：1990-12-2 . 日高町日置.

篩板類特有の「ポロ網」の住居より姿をのぞかせたところを撮影。
網にかかった獲物の残骸に、ニイニイゼミの翅^{うば}があった。

2. ウズグモ科 Uloboridae

2. エゾウズグモ *Uloborus yesoensis* (S.SAITO)

1)1989-VI-25. 2)畑ヶ平高原. 3)1 ♀.

ブナやトチノキの自然林内に堆積した大きな石の間から発見した。

3. ヒメグモ科 Theridiidae

3. オオツリガネヒメグモ *Achaearanea tabulata* LEVI

1)1990-VI-3. 2)大屋町宮垣. 3)1 ♀.

乾燥した河川の土手近くに堆積した石の間に、釣鐘状の住居をつくっていた。

ツリガネヒメグモ *A. angulithorax* に類似しており、生態的にも釣鐘状の住居をつくるので、過去の記録の中で混同されている可能性が考えられる。2種を比較するとオオツリガネヒメグモの方がやや大きく、生殖器の構造の違いによって区別される(吉田, 1983)。

4. シロカネイソウロウグモ *Aragyrodes bonades* (KARSCH)

1)1990-IX-9. 2)日高町赤碕. 3)1 ♀.

腹部が銀白色をしており、橋の欄干のズグロオニグモの網より発見した。

5. サヤヒメグモ *Coleosoma blandum* O.P.-CAMBRIDGE

1)1990-IX-9. 2)日高町赤碕. 3)1♀.

細長い腹部の先端は尖り、全体的にアリの似た形態をしている。

6. シモフリヒメグモ *Theridion lyricum* WALCKENAER

1)1990-IX-9. 2)日高町赤碕. 3)1♀.

ギフチョウの孵化したばかりの幼虫を捕食する習性があると言われており（千国, 1989）, 生態的に興味を持たれる。

4. サラゲモ科 *Linyphiidae*

7. マルサラゲモ *Centromerus sylvaticus* (BLACKWALL)

1)1989-X-11. 2)温泉町岸田. 3)1♂, 1♀.

1)1989-X-22. 2)温泉町菅原. 3)1♂, 4♀.

1)1990-XI-22. 2)日高町上ノ郷. 3)1♀.

10月から11月頃、河川上流域の落葉の下や石の間にシート網を張っており、多数の個体が見られた。

5. アシナガグモ科 *Tetragnathidae*

8. シナノアシナガグモ *Tetragnatha shinanoensis* OKUMA et CHIKUNI

1)1990-VI-10. 2)大屋町横行溪谷. 3)2♀.

溪谷ぞいの林道の草間から採集された。周囲はトチノキなどの自然林になっており、同時にエゾアシナガグモ *T. yesoensis* (3♂, 3♀) を採集している。

シナノアシナガグモは、長野県をタイプ産地として1978年に記載され、当初は信州地方の特産種と思われた（大熊, 私信）。その後、京都府や奈良県からも記録され（OKUMA, 1987）。近畿地方にも分布することが確認された。

兵庫県からは今回が初めての記録であり、記載者の一人である大熊千代子氏から同定の確認を得た。

6. コモリグモ科 *Lycosidae*

9. クロココモリグモ *Arctosa subamylacea* (BOES. et STR.)

1)1990-IX-9. 2)大屋町宮垣. 3)1♀.

10. イサゴコモリグモ *Pardosa isago* TANAKA

1)1990-XI-3. 2)日高町野々庄 3)1♀.

本種は、キシベコモリグモ *P. yaginumai* に類似するが、生殖器の構造や色彩などで区別が容易である(田中, 1977)。両種とも生息環境は同じであり、川原の石の間などに見ることができる。但馬では、キシベコモリグモの方が個体数が多く、イサゴコモリグモは稀である。

11. ナミコモリグモ *Pirata yaginumai* TANAKA

1)1989-X-22. 2)温泉町菅原. 3)1♀.

1)1990-VI-3. 2)大屋町筏. 3)1♂, 4♀.

1)1990-VI-3. 2)大屋町宮垣. 3)4♀.

1)1990-IX-9. 2)大屋町宮垣. 3)4♀.

河川の水辺の石の下などに小さなシート上の網を張っている。6月に採集した雌は卵嚢を持っていた。

12. アライトコモリグモ *Trochosa ruricola* (DE GEER)

1)1989-X-22. 2)浜坂町戸田. 3)1♀.

1)1989-XII-3. 2)浜坂町戸田. 3)1♂.

1)1990-V-13. 2)日高町赤碓. 3)1♀. (未採集, 確認のみ)

草原状になった川原の石の下に、袋状の住居をつくって潜んでいることが多い。住居は、外敵からの一時的な隠れ場所であったり、雌では産卵のための産室や卵嚢の保護の役割を持つと考えられる。

本種は、カラフトコモリグモ *T. terricola* に類似しており、雄は触肢先端にある1本の爪によって容易に区別されるが(カラフトコモリグモにはない)、雌では外部形態からの区別はほとんどつかない(千国, 1989)。分布の上で、前者は北海道及び本州の青森から岡山までの広い地域で確認されているが、後者は北海道と本州の一部(青森県, 栃木県, 長野県などの北部または高地)で確認されているだけである(TANAKA, 1988b)。

但馬における過去のカラフトコモリグモの記録は、アライトコモリグモである可能性が高く、検討の必要がある。

謝辞

クロガケジグモの採集記録の情報を提供くださった本庄四郎氏，ならびに追手門学院大学の西川喜朗氏，シナノアシナガグモの標本の同定確認および貴重な文献を与えてくださった九州大学生物学教室の大熊千代子氏．末筆ながら，各氏に心より感謝の意を表したい．

参考文献

1. OKUMA, C. (1988) A Revision of the Genus *Tetragnatha* Lareille (Araneae, Tetragnathidae) of Asia, Part I. *J. Fac. Agi., Kyusyu Univ.* 32(3・4):165-181.
2. 田中穂積 (1977) 日本産オオアシコモリグモ属 2 新種の記録. *ACTA ARACHNOL.* 27(Special number):51-59.
3. TANAKA, H. (1988a) Lycosid Spiders of Japan I. The Genus *Pirata* SUNDEVALL. *ACTA ARACHNOL.* 36:33-77.
4. TANAKA, H. (1988b) Lycosid Spiders of Japan II. The Genus *Trochosa* C.L.KOCH. *ACTA ARACHNOL.* 36:93-113.
5. 千国安之輔 (1989) 写真日本クモ類図鑑，偕成社，東京.
6. 本庄四郎 (1990) 但馬のクモ類，但馬の自然，147-154. 神戸新聞総合出版センター，兵庫.
7. 本庄四郎・山本一幸 (1990) 但馬のクモ類目録，IRATSUME 13・14:1-33.
8. 吉田 哉 (1983) 日本産 *Achaearanea* 属 (真正蜘蛛目：ヒメグモ科) の 1 新種，*ACTA ARACHNOL.* 32(1):37-42.
9. 八木沼健夫 (1986) 原色日本クモ類図鑑，保育社，大阪.
10. 八木沼健夫・平嶋義宏・大熊千代子 (1990) クモの学名と和名 その起源と解説，九州大学出版会，福岡.
11. 山本一幸 (1990) 岸田川と夢前川のクモ相，兵庫陸水生物36・37：175-176.